

避難に関する防災情報を入手しましょう

防災対策には情報収集が大切となります。以下のツールを活用し、現状を把握し、危険を察知し、避難のタイミングを逃さないようにしましょう。

【杉戸町からの防災情報】

杉戸町防災ウェブサイト
町内の防災情報を掲載



メール配信サービス「すぎめー。」
① sugito-entry@sg-m.jp に空メール
② メール本文のアドレスにアクセス
③ 必要事項を入力

防災無線
フリーダイヤル：0120-65-5714
防災無線の直前の内容を確認することができます。

【その他の機関からの防災情報】

テレ玉データ放送サービス
① 地デジ放送3chに合わせる
② 「d」ボタンを押す
③ 「杉戸町からのお知らせ」選択

緊急速報メール
川の氾濫する危険をその周囲の人へ発信（登録不要）



埼玉県の防災ウェブサイト
県内の防災情報を掲載



気象庁ホームページ
気象庁が発表している防災気象情報を掲載



国土交通省防災情報提供センター
警報・注意報・気象情報・河川情報・降水ナウキャスト等を掲載




土のうステーションをご利用ください

町では、どなたでも自由に土のうを取り出せる「土のうステーション」を**西公民館駐車場及び泉公民館駐車場に設置**しました。土のうは、袋の中に土砂を詰めている土木資材で、応急措置として積み上げることで、浸水や冠水への備えになります。台風等の緊急時に応じてご利用ください。



土のうステーションについてお願い

- 土のうは何度も繰り返し使用できますので、ステーションに返却せず自宅で保管し、次の災害時に利用してください。
- 土のうは、地域のみなさんで利用できるよう、ゆずりあってお使いください。また、事業者や法人などはなるべく土のうを購入ください。

日頃から備えましょう

◆家の回りを保全する

飛ばされそうなものは屋内へ移動するか固定し、側溝や排水溝を掃除しておきましょう。

◆非常持出品などの準備

貴重品や飲料水、ラジオなどを準備しておきましょう。

※気象情報や危険な前ぶれに注意し、「**自分の身は自分で守る（自助）**」「**みんなで助け合う（共助）**」という意識を持って、家族や地域、事業所などで日頃から防災について関心を高め、風水害に備えましょう。



避難所における新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルスが収束する前に、地震・風水害等の発生により避難所を開設する場合、感染拡大防止のため、次の点についてご協力をよろしくお願いいたします。

日常からできること

◆親戚や友人の家等への避難の検討

避難所が過密状態となり、感染リスクが高まる場合もあります。可能な場合は、安全な地域にいる親戚や友人の家等、避難所以外への場所へ避難することも検討しましょう。

※特に**高齢者や乳幼児のいるご家庭は、準備が必要**です。

◆マスクなどの必要なものの備蓄

町の備蓄品には限りがありますので、できる限り必要なものは自分で用意し、持参してくださいませよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

例・・・マスク、アルコール除菌剤、体温計、最低3日分の食料や飲料水など。



避難所でできること

◆手洗い、咳エチケット等の徹底

避難所へ避難された場合、断水等の影響がないときは、こまめに手洗いをしましょう。また、咳エチケット等の感染症対策を徹底しましょう。

◆衛生環境の確保

避難所の物品等は、目に見える汚れがあるときは定期的に清掃を行いましょう。また、十分な換気を行うなど、できる限り避難所の衛生環境を整えましょう。

◆専用スペースの確保

発熱、咳などの症状がある方のための専用スペースを確保します。また、できる限り個室とし、専用のトイレを設けるなど、感染症対策に努めます。一般の方と区画や動線を分けることがありますのでご協力ください。



風水害から命を守る



近年、局所的な大雨や台風による風水害が、全国的に大きな被害をもたらしています。災害をなくすことはできません。災害が発生した際にも少しでも被害を減らし、自分や家族の命を守るため、事前に災害への対処方法について確認しておきましょう。

問合せ ぐらし安全課
消防・防災担当（内線282）

（写真）令和元年10月13日（日）午前6時頃 大落古利根川の様子
台風19号の影響により雨が激しく降り続いたため、氾濫注意水位7.7mを超えました。

日頃からの準備が大切！

①町が作成しているハザードマップや地域防災計画を確認！

河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、内水※被害が起りやすい場所はどこか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所にどのような危険があるかを確認しましょう。
※内水とは、一時的な大雨により、公共排水施設等に雨水を排水できず、地表面に溜まった水です。



②町が指定している避難場所を確認！

避難場所への経路や移動手段について計画し、速やかに避難・集合ができるようにしておきましょう。

災害が発生する前に！

風水害の発生が近づいている場合は、積極的に情報収集をしましょう。国や県、町が出す情報には災害の危険性によって5段階の警戒レベルがあります。

警戒レベル3～4に該当する情報が発表された場合には、地域の皆さんで声をかけあって安全・確実に避難をしましょう。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 を取りましょう。	災害発生情報 ※可能な範囲で発令（町が発令）	氾濫発生情報 大雨特別警報等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示（緊急） 避難勧告（町が発令）	氾濫危険情報等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児等）とその支援者は避難 をしましょう。	避難準備・高齢者等避難開始（町が発令）	氾濫警戒情報 洪水警報等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの 避難行動を確認 しましょう。		洪水注意報 大雨注意報等（気象庁が発表）
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報（気象庁が発表）

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。